

学会告知板

第 38 回帝京弱視斜視研究会

日本眼科学会専門医制度生涯教育事業認定(認定事業番号 18953)

日本視能訓練士協会生涯教育制度事業認定(認定事業番号 0022)

日 時 ● 2025 年 9 月 30 日(火) 18:00~20:00

会 場 ● 帝京大学板橋キャンパス本部棟 臨床大講堂

https://www.teikyo-u.ac.jp/campus/itabashi_campus

参加費 ● 無 料

事前申込等は不要です。当日は直接会場へお越しください。

ホームページ ● <https://teikyo-ortho.com/>

演 題 ● 1. 弱視視能訓練に携わって分かったこと

白井千恵(帝京大学医療技術学部視能矯正学科)

2. 網膜走査型レーザディスプレイと液晶ディスプレイでの周辺視力の比較

加藤可奈子(帝京大学医療技術学部視能矯正学科)

3. CO メジャーを用いた眼球偏位量の変化

橋爪くれあ(帝京大学大学院医療技術学研究科視能矯正学専攻)

4. 帝京大学医療技術学部視能矯正学科 卒業研究発表

①反跳式眼圧計によるサウナ浴および外気浴後の眼圧変動の経時的評価

中町凌汰, 樋下田壱聖

連絡先 ● 帝京大学医療技術学部視能矯正学科

担当: 林 孝雄

〒173-8605 東京都板橋区加賀 2-11-1

Tel: 03-3964-1328 / Fax: 03-3963-0303 / e-mail: ortho@med.teikyo-u.ac.jp

学会告知板

第 62 回六大学合同眼科研究会のご案内

日 時 ● 2025 年 9 月 27 日(土) 13:30 開会予定

場 所 ● 九州大学医学部百年講堂大ホール

プログラム ● 特別講演 1: 雑賀司珠也(和歌山県立医科大学医学部眼科学講座)

特別講演 2: 中馬秀樹(宮崎大学医学部眼科学教室)

教育講演: 村上祐介(九州大学大学院医学研究院眼科学分野)

申込・連絡先 ● 〒812-8582 福岡県福岡市東区馬出 3-1-1

九州大学眼科学教室

医局長 塩瀬聡美

Tel: 092-642-5648 / Fax: 092-642-5663 / e-mail: oculus@med.kyushu-u.ac.jp

研究会は日眼生涯教育事業(1 日 1.5 単位)に申請予定です。

公益財団法人 高齢者眼疾患研究財団
2025 年度「研究助成」応募のご案内

財団法人 高齢者眼疾患研究財団は 1993 年に、高齢者の視力障害をきたす疾患に関する調査・研究・国際協力等を行い、国民の健康の増進および眼科学の進歩に寄与することを目的に設立しました。

その後 2013 年に、内閣総理大臣の認定を受け、公益財団法人 高齢者眼疾患研究財団となりました。

当財団は活動の一環として、「悪性糖尿病網膜症等高齢者の視力障害をきたす疾患の予防および治療に関する調査研究」に対し下記の要件にて研究助成を実施しております。

対 象 ●悪性糖尿病網膜症等高齢者の視力障害をきたす疾患の予防および治療に関する調査研究(個人研究、共同研究可)

資 格 ●応募者の職務は常勤が望ましい

研究期間 ●2026 年 4 月から 2027 年 3 月までに完結見込みの研究

助成金額 ●1 件 100 万円

締め切り ●2025 年 12 月 15 日 必着

応募方法 ●申請書等用紙は、返信用封筒(210 円切手貼付)を同封のうえ、本財団に請求すること
※申請書をデータで請求する場合、本財団ホームページ(www.rfeda.or.jp/)の研究助成事業よりダウンロードすること

応募書類請求先/送付先 ●公益財団法人 高齢者眼疾患研究財団
〒 250-0042 神奈川県小田原市荻窪 1772 番地
佐伯眼科クリニック内 事務局：馬場華子
TEL：0465-32-7526
FAX：0465-32-1177

選考方法 ●高齢者眼疾患研究財団助成選考委員会の審査に基づいて理事会で決定する。結果は 2026 年 2 月末以降に研究代表者に連絡する

助成金の交付 ●助成決定者に対し、2026 年 3 月以降に交付する

研究結果発表 ●研究終了 1 年以内に研究実績報告書を提出すること
※研究成果を学術雑誌に発表する際には、高齢者眼疾患研究財団の研究助成を受けていることを明示すること

その他 ●助成対象事業に係る収入および支出を明らかにした帳簿(証拠書類を含む)を備えること

公益財団法人 高齢者眼疾患研究財団
〒 250-0042 神奈川県小田原市荻窪 1772 番地
TEL：0465-32-7526
FAX：0465-32-1177
ホームページ：www.rfeda.or.jp/
理事長 佐伯宏三

学会告知板

第 130 回日本眼科学会総会

会 期 ●2026 年(令和 8 年) 4 月 9 日(木)～ 12 日(日)

会 場 ●福岡国際会議場/〒 812-0032 福岡市博多区石城町 2-1

マリンメッセ福岡 A 館/〒 812-0031 福岡市博多区沖浜町 7-1

マリンメッセ福岡 B 館/〒 812-0031 福岡市博多区沖浜町 2-1

学会長 ●園田康平(九州大学大学院医学研究院 眼科学分野, 教授)

副学会長 ●吉富文昭(福岡県眼科医会, 会長)

プログラム委員長 ●平岡孝浩(筑波大学医学医療系眼科, 准教授)

テーマ ●夢見るまなざし

主 催 ●公益財団法人日本眼科学会

主管校 ●九州大学大学院医学研究院 眼科学分野

〒 812-8532 福岡県福岡市東区馬出 3-1-1

Tel : 092-642-5648 / Fax : 092-642-5663

事務局長 : 村上祐介

演題募集 ●2025 年 10 月 1 日(水) 10:00～2025 年 11 月 5 日(水) 正午

※演題募集詳細(募集要項, 発表形式, 言語等)については第 130 回日本眼科学会総会ホームページにてご確認をお願いいたします。

参加登録 ●事前参加登録 : 2025 年 10 月 1 日(水)～2026 年 2 月 20 日(金)(予定)

後期参加登録 : 2026 年 2 月下旬～会期終了

※今回の事前参加登録は, オンラインクレジットカード決済またはコンビニ決済でのオンライン登録のみです。郵便振替登録は行いませんのでご注意ください。

プログラム ●特別講演 1 : 大野京子(東京科学大学)

特別講演 2 : 柏木賢治(山梨大学)

代議員指名講演 : 「小児眼科の進歩」

仁科幸子(国立成育医療研究センター), 近藤寛之(産業医科大学), 福岡葉子(大阪大学)

招待講演 1 : Caroline Klaver (Erasmus University Rotterdam, Netherlands)

招待講演 2 : Andrew D. Dick (UCL, London, UK / University of Bristol, UK)

シンポジウム<総会長枠> :

「アジアにおける眼科遠隔医療と公衆衛生」(日中韓眼科ジョイントシンポジウム 1)

「アジアにおける国際共同研究のあり方と展望」(日中韓眼科ジョイントシンポジウム 2)

「難病の治療が変わる! これからのゲノム科学とプレジジョン医療」

「チームアジアから発信する眼科新知見!!」

教育セミナー :

「臨床研究の基本」「眼科感染制御 ファクトチェック」「眼科診療に MRI は必要だ!」

「前眼部 OCT マスターを目指そう!」「先手必勝! 眼腫瘍 ～まず何を考え何をすべきか～」

「ERG をもっと臨床に役立てよう」「徹底解説! 乳幼児診察の基本手技と診療ポイント～目の前の赤ちゃん, あなたはどう診る?～」

「遺伝学の最前線～JOS/JSHG ジョイントセッション～」

「日本型バイオイノベーションの進化: 産官学の協創戦略」

「専門医志向者トレーニングコース」

International Symposium :

<炎症・感染・アレルギー> 「Current Topics in Ocular Immunology and Uveitis」

<角結膜> 「The Cutting Edge of Corneal Research: Bridging Bench and Bedside」

サブスペシャルティサンデー :

＜前眼部疾患＞「もっと知ろう！眼瞼炎」「多焦点眼内レンズの Now and in the Future」「新しい治療でどう変わる？角膜移植術の適応」

＜緑内障・視神経症＞「視神経疾患診断治療の不易流行」「緑内障診断の不易流行」「緑内障治療の不易流行」

＜後眼部疾患＞「Lamellar macular hole 類縁疾患への理解」「裂孔原性網膜剥離の治療を極める」「RVO, DME の薬物治療の最前線」

＜小児眼科・眼腫瘍・視機能＞「それって本当にその病気？ ～専門家たちの事件簿～」 「AI に負けない眼科サブスペシャリティ」「ロービジョンケアを再構築する」

スキルトランスファー：

「眼科基礎研究スキルトランスファー～躍進する女性研究者の研究スタイルに学ぶ～」

「レチノスコピーの実技指導」

The International Crosstalk Symposium by Young Ophthalmologists

Young Ophthalmologists Committee シンポジウム

一般講演，学術展示，専門医制度講習会，オルソケラトロジー講習会，屈折矯正手術講習会，共催セミナー（モーニング，ランチョン，アフタヌーン，イブニング，フェアウェル），（一社）日本眼科医療機器協会併設機器展示，市民公開講座

※詳細は随時ホームページにて公開させていただきます。

ホームページ ● <https://www.congre.co.jp/130jos/>

運営事務局 ● 〒 810-0001 福岡県福岡市中央区天神 1-9-17-11F

株式会社コングレ 九州支社

Tel：092-718-3531 / Fax：092-716-7143 / e-mail：130jos@congre.co.jp

お問い合わせ等ありましたら，運営事務局までお問い合わせください。

学会告知板

第 23 回近畿弱視斜視アフタヌーンセミナー案内

—弱視・斜視の基礎と最新情報シリーズ—

「弱視・斜視の基礎・臨床と最新情報—その 8—」

期 日 ● 2026 年 2 月 28 日(土) 14:45~17:15

開催形式 ● Web 開催 + オンデマンド配信

講 演 ● 1. 不同視・不等像視の考え方

不二門 尚(大阪大学)

2. 片眼弱視の診断と治療

野村耕治(兵庫県立こども病院)

3. 弱視斜視診療の落とし穴

下條裕史(大阪大学)

4. NDB を用いた全国調査から分かった斜視のあれこれ

宮田 学(京都大学)

5. レチノスコーピー講習会

登録料 ● 医師 3,000 円, 非医師 1,000 円

主 催 ● 近畿弱視斜視研究会

(遠藤高生, 不二門 尚, 木村亜紀子, 雲井弥生, 初川嘉一, 稗田 牧, 三宅三平, 宮

田学, 森本 壮, 村木早苗, 増田明子, 西 智, 野村耕治, 佐々本研二, 白井久美,

下條裕史, 杉山能子, 菅澤 淳, 近江正俊, 内海 隆, 横山 連)

参天製薬株式会社

事務局 ● 森本 壮(大阪大学眼科学教室)

問い合わせ窓口 ● 加藤大貴(参天製薬株式会社)

Tel: 0120-310-106 / e-mail: daiki.kato@santen.com

学会告知板

第 257 回 O.C.C. ご案内

日 時 ● 2025 年 11 月 1 日(土) 14:00~17:00

場 所 ● 第二吉本ビルディング

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 2 丁目 2 番 2 号

ヒルトンプラザウエスト オフィスタワー 8 階

テーマ ● 「身近な小児・斜視・神経眼科」

連絡先 ● 大阪大学大学院医学系研究科眼科学教室

Tel: 06-6879-3456 / Fax: 06-6879-3458